

共に響き合う、京響

City of Kyoto Symphony Orchestra

70th Anniversary 京響

2026
7.10 金

Fri, July 10, 2026 / 7:00PM

開演：午後 7:00 (午後 6:00 開場)

7.11 土

Sat, July 11, 2026 / 2:30PM

開演：午後 2:30 (午後 1:30 開場)

林光：吹きぬける夏風の祭

(1985年度京都市委嘱作品)

Hikaru Hayashi: Carnival, A Windborne Premonition

(Commissioned by Kyoto City in 1985)

吉松隆：ファゴット協奏曲「一角獣回路」*

(1988年度京都市委嘱作品)

Takashi Yoshimatsu: Bassoon Concerto "Unicorn Circuit"*

(Commissioned by Kyoto City in 1988)

ラヴェル：「鏡」(管弦楽版)から
「海原の小舟」「道化師の朝の歌」

Ravel: Miroirs (version for orchestra) -

"Une barque sur l'océan", "Alborada del gracioso"

ドビュッシー：交響詩「海」

Debussy: La mer, trois esquisses symphoniques

京都コンサートホール・大ホール

Kyoto Concert Hall (Main Hall)

京都市営地下鉄烏丸線「山科」駅下車 出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前は指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。

7/10[金]公演=午後6:30頃 7/11[土]公演=午後2:00頃

「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。

林光、吉松隆：京都市委嘱作品が蘇る！
沖澤による渾身のジャポニズム・プログラム

京都市交響楽団

第 713 回 定期演奏会

指揮：
沖澤 のどか
(常任指揮者)

Conductor: Nodoka Okisawa
(Chief Conductor)

©Felix Broede

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

ファゴット：

ソフィー・デルヴォー*

Bassoon: Sophie Dervaux*

©Marco Borggreve

入場料 2026.4.10 [金] から発売
◎6,000円 ▲5,500円 ④4,500円
◎3,500円 ③3,000円 (舞台後方席)

U30 [前売] 一般発売に併せて販売 ◎2,500円 ▲2,000円 ③1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際には年齢の確認ができる証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご携帯ください。
※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。
※販売席数は限定。

U30 [当日] 当日残席がある場合のみ発売 ◎2,500円 ▲2,000円 ③1,500円 ②1,000円 ①1,000円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書のご提示が必要となります。※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。

金曜アテチケット (7/10 公演) ◎10,000円 ▲9,000円 ⑧8,000円

※2名様での購入がお得なチケットです。※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>、チケットカウンターで販売 (チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※他の割引(特典等)との併用はできません (京響友の会、Club 会員、障がい者割引)。※前売販売のみ。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2026年7月3日までに京響075-222-0347へお申込みください) ◆10枚以上のチケットお申込みには団体割引(10%OFF)があります。京響075-222-0347までお問い合わせください。◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い (窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

主催：京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
協力：株式会社ドルチェ楽器 後援：(株)エフエム京都

協賛：ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ、スターツグループ

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



「ジャポニズム」をテーマにした本プログラム、前半は京都市委嘱作品を再演します。林光作曲「吹きぬける夏風の祭り」(1985年度委嘱作品)に続き、吉松隆作曲 ファゴット協奏曲「一角獣回路」(1988年度委嘱作品)では、ウィーン・フィルの首席ファゴット奏者ソフィー・デルヴォーが登場します。

後半はラヴェルのピアノ組曲「鏡」から、作曲者自身が管弦楽編曲を施した「海原の小舟」と「道化師の朝の歌」、そしてドビュッシー交響詩「海」。ラヴェルの「海原の小舟」とドビュッシーの「海」は、葛飾北斎の「神奈川沖浪裏」から着想を得たり影響を受けて作曲されていますが、異なる視点でのアプローチとなっています。

ある1枚の浮世絵がフランス人作曲家に影響を与え、そうして創作された曲に影響を受け邦人作曲家がまた新たな曲を創作する、というつながりも感じられる「ジャポニズム」の世界をお楽しみください。

沖澤 のとか (常任指揮者)

Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

指揮

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞と聴衆賞を受賞。2018年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝。第28回(2020年度)渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第21回(2022年度)齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門、第1回(2023年度)毎日芸術賞ユニクロ賞、青森市長特別未来賞、令和6年度京都市芸術新人賞など受賞多数。セイジ・オザワ松本フェスティバル首席客演指揮者。ミュンヘン響2022/23シーズンのアーティスト・イン・レジデンス。「青い海と森の音楽祭」芸術総監督。2020-22年ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコ氏のアシスタント。2025/26シーズンは、ロンドン・フィル、ドルトムント・フィル、ボストン響ヘデビュー、エストレマドゥーラ響、ウィニペグ響、メルボルン響へ再登場のほか、タスマニア響とオーランド・フィルも指揮する。また、最近の特筆すべきデビューとして、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管、N響、バーゼル室内管、ケベック響、BBC ウェールズ・ナショナル管での成功が挙げられる。日本でも読響、都響、N響、日本フィルなどへ定期的に客演。東京二期会では2020年11月にレハール「メリー・ウイダー」、2025年2月にはビゼー「カルメン」を指揮した。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでC. エーヴァルトとH. D. バウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。



©Felix Broede

ソフィー・デルヴォー

Bassoon: Sophie Dervaux

ファゴット

2015年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団およびウィーン国立歌劇場管弦楽団首席ファゴット奏者。これ以前はベルリン・フィルハーモニー管弦楽団にて首席コントラファゴット奏者を務めた。ミュンヘン国際音楽コンクール(2013)、ベートーヴェンリング(2014)など、数多くの著名なコンクールでの受賞歴を持つ。2014年以降は「Püchner Artist」として使用楽器であるピュヒナー社のファゴットを広める活動を熱心に行い、ファゴットのアンバサダーとして従来の作品の再発見や新作委託を通してファゴットの作品拡充に取り組んでいる。ソリストとして、ウィーン・フィル、バイエルン放送響、シュトゥットガルト放送響、ミュンヘン室内管、ベルリン・コンツェルトハウス管、リヨン国立管など著名なオーケストラと共演、ヴィヴァルディ、サン＝サーンス、ジョリヴェ、シュトラウス、バガニニ、さらに現代作品まで幅広いレパートリーを持つ。2021年にベルリン・クラシックよりアルバム「impressions」をリリース。セルム・マザリと共演しファゴットとピアノのための作品を収録、ドイツ・レコード批評家賞を受賞。その後も継続的にモーツァルト、フンメル、ヴァンハル、M. ハイドン、J. C. バッハの協奏曲のアルバムをリリース、現在ヴィヴァルディのファゴット協奏曲全集の録音が進行中。室内楽奏者としては、2020年にダニエル・バレンボイム、エマニュエル・パユと共演、ベートーヴェン「ピアノ、フルートとファゴットのための三重奏曲」を収録、ワーナー・クラシックよりリリースされている。ウィーン私立音楽芸術大学では教鞭をとり、世界中の著名な音楽大学でマスタークラスを行っている。幼少期にギターとクラリネットを学んだ後、2003年よりファゴットを始め、ヴェルサイユ音楽院を経てリヨン国立高等音楽院を卒業、ハンス・アイスラー音楽大学、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のカラヤン・アカデミーにて学ぶ。カルロ・コロombo、ジャン・ピニョリ、フォルカー・テスマン、ダニエル・ダミアノに師事。



©Marco Borggreve

City of Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、ロームシアター京都でのオペラやコンサートのほか、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリーントを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2026年は創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。



©井上写真事務所 井上嘉和

次回予告
第714回
定期演奏会

2026.5/15
から発売!



ヤン・ヴィレム・デ・フリーント



鈴木愛美

鬼才デ・フリーントによる珠玉のシューベルト「未完成」
大注目の若手ピアニスト鈴木愛美が躍動!

2026. 8.28 金 午後7:00 開演
8.29 土 午後2:30 開演

会場: 京都コンサートホール・大ホール 指揮: ヤン・ヴィレム・デ・フリーント(首席客演指揮者) 独奏: 鈴木 愛美(ピアノ)*

入場料 全席指定 ¥6,000円 全席指定 ¥5,500円 全席指定 ¥4,500円 全席指定 ¥3,500円 全席指定 ¥3,000円(舞台後方席)

U30(優先) ¥2,500円 ¥2,000円 ¥1,500円 全席指定 ¥10,000円 ¥9,000円 ¥8,000円

曲目 ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第3番 小調 op. 37* シューベルト(ウエーバー編): 6つのドイツ舞曲 D. 820
シューベルト: 交響曲 第7番 小調 D. 759 「未完成」

The 713th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra